

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公表番号】特表2009-516046(P2009-516046A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-541063(P2008-541063)

【国際特許分類】

C 08 J 9/26 (2006.01)

【F I】

C 08 J 9/26 102

C 08 J 9/26 C E R

C 08 J 9/26 C E Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月22日(2012.6.22)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

<実施例2>

半結晶性高分子として重量平均分子量が 4.0×10^5 g/molでコモノマーとしてブテン-1が0.5重量%含まれた高密度ポリエチレン90重量%と重量平均分子量が 4.5×10^5 のホモポリプロピレン10重量%が使用された。希釈剤としてはジブチルフタレートが使用された。半結晶性高分子と希釈剤の重量比は35/65であり、体積率は37.6/62.4であった。使用された高密度ポリエチレンの熱含量は155J/gで結晶度は52.5%であり、シート内での熱含量は58.5J/gで希釈剤とポリプロピレンを除いては結晶度は63.0%であった。使用されたホモポリプロピレンの熱含量は85J/gで結晶度は59%であり、シート内での熱含量は3.8J/gで希釈剤とポリエチレンを除いては結晶度は74.9%であった。従って、使用された半結晶性高分子樹脂の平均結晶度は53.1%であり、シート内における平均結晶度は60.9%であった。その他の製造条件は実施例1と同一に行った。延伸は118で同時延伸で縦方向、横方向の夫々6倍に施した。抽出、乾燥及びエージングの後得られたフィルムの厚さは16μmであった。気泡領域及び膨潤領域の割合そして製造されたフィルムの特性を表1に整理した。